



角川武蔵野ミュージアム  
Kadokawa Culture Museum

公益財団法人  
角川文化振興財団  
Kadokawa Culture Promotion Foundation

公益財団法人角川文化振興財団  
2024年6月18日

## 高山辰雄の画業をたどる、角川武蔵野ミュージアムのコレクション展〈第三弾〉 「角川武蔵野ミュージアムコレクション展 vol.03 高山辰雄—存在追憶 限りなき時の中に—」 7月20日より開催

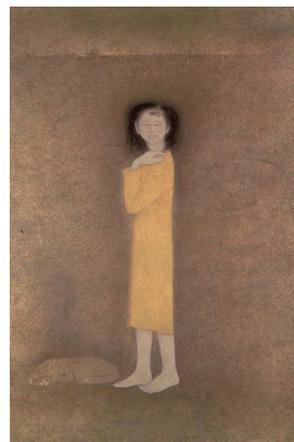
公益財団法人 角川文化振興財団（所在地：東京都千代田区、理事長：川上量生、以下 角川文化振興財団）は、「ところざわサクラタウン」内、「角川武蔵野ミュージアム」4Fエディット アンド アートギャラリーにて、2024年7月20日(土)～2024年9月23日(月)、日本画家・高山辰雄の展覧会「角川武蔵野ミュージアムコレクション展 vol.03 高山辰雄—存在追憶 限りなき時の中に—」を開催いたします。

### ■ 高山の代表作の展示やアトリエをイメージした空間で、画業の変遷をたどる

大分県に生まれた日本画家・高山辰雄(1912-2007)は、伝統的な日本画の技法を用いて作品を制作。日展を中心に活躍し、東山魁夷、杉山寧とともに「日展三山」と称され、戦後の日本画壇の最高峰として高い評価を受けています。

角川武蔵野ミュージアムでは多くの高山作品を収蔵しており、研究と公開のために昨年より展示を開始しています。今回はその第三弾として、高山作品で最も広く知られている代表作《少女》(1979年)を含めた4点の日展出品作や、幅3mを超える大作《存在追憶 限りなき時の中に》(1999年)までを展示し、画業の変遷を辿ります。

展示室中央では、高山のアトリエをイメージした空間で画材などの資料を紹介。13年に渡り毎月描いた『文藝春秋』の表紙絵と高山の残した言葉を組み合わせることで、その人物像に迫ります。生きることを描き、描くことを生きた、画家の生み出した作品群をご覧ください。



《少女》1979年

### ■ 人間の風景、その集大成である《存在追憶 限りなき時の中に》を展示

「人間が描きたい。なんと人間が表現できたらと、真底から思っている…」と語った高山の、高さ約2m×幅約3mの大作《存在追憶 限りなき時の中に》を展示します。画面には、夢幻の広がりをおぼせる風景に、「家族」を思わせる父親らしき男性と母親らしき女性、少年、少女に幼子と犬が描かれています。



《存在追憶 限りなき時の中に》1999年

#### ● 高山辰雄プロフィール

高山辰雄：1912(明治45)年～2007(平成19)年。大分県大分市生まれ。1936年、東京美術学校日本画科を首席卒業。在学中から松岡映丘に師事。1946年、1949年に日展特選、独自の芸術的な画風が評価される。以降、日本芸術院賞、芸術選奨文部大臣賞、日本芸術大賞等を受賞。1982年、文化勲章受章。日展を中心に活躍し、東山魁夷、杉山寧とともに「日展三山」として知られる。

## 【展覧会概要】

展示タイトル：角川武蔵野ミュージアムコレクション展 vol.03 高山辰雄—存在追憶 限りなき時の中に—

英語タイトル：Kadokawa Culture Museum Collection Exhibition vol.03 Tatsuo Takayama "Existence Reminiscence in the Midst of Limitless Time"

会場：角川武蔵野ミュージアム 4F エディット アンド アートギャラリー

住所：埼玉県所沢市東所沢和田 3-31-3 ところざわサクラタウン内

会期：2024年7月20日(土)～2024年9月23日(月)

休館日：毎週火曜日（8月13日(火)は臨時開館）

営業時間：10:00～18:00（最終入館は17:30）

展覧会公式サイト：<https://kadcul.com/event/191>

主催：角川武蔵野ミュージアム（公益財団法人 角川文化振興財団）

チケット価格(税込)：KCMスタンダードチケット（本棚劇場含む）

●オンライン購入（<https://tix.kadcul.com/>）、当日窓口購入

一般(大学生以上)：1,400円／中高生：1,200円／小学生：1,000円／未就学児：無料

※本展覧会の他、当館のスタンダードエリア（常設展エリア）をご覧ください。

※展示替えなどにより、日程によっては一部エリアに入場できない場合がございます。

※「1DAY パスポート」チケットなどでも本展覧会をご覧ください。詳細は公式サイトでご確認ください。

\* 休館日、開館時間は変更となる場合があります。最新情報、詳細は公式サイトでご確認ください。

\* 展示内容が変更、または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

### ■「角川武蔵野ミュージアム」について

図書館、美術館、博物館が融合した文化複合施設。

館長の松岡正剛氏が世界を読み解く9つの文脈に沿って独自の配架をした「ブックストリート」、博物学者の荒俣宏氏が監修する「荒俣ワウダー秘宝館」、「本と遊び、本と交わる」をテーマにした「本棚劇場」、これら「エディットタウン」は当館のメインエリアです。本棚劇場では、360度を取り囲む高さ8mの巨大本棚にプロジェクションマッピングが映し出されます。

また、マンガや多数の出版社のライトノベルが並ぶ「マンガ・ラノベ図書館」や、企画展が開催される「グランドギャラリー」など、松岡館長が提唱する「想像力とアニメに遊ぶミュージアム」として、様々な「まぜまぜ」を提供します。建築デザイン監修は隈研吾氏、アート部門ディレクターは神野真吾氏。

公式サイト：<https://kadcul.com/>

X(旧 twitter)：[https://x.com/Kadokawa\\_Museum](https://x.com/Kadokawa_Museum)

Instagram：

[https://www.instagram.com/kadokawa\\_culture\\_museum](https://www.instagram.com/kadokawa_culture_museum)

Facebook：

<https://www.facebook.com/kadokawaculturemuseum>

一般の方からのお問い合わせ：0570-017-396（受付時間：10:00-18:00）

### ■角川文化振興財団について

角川文化振興財団は「わが国の文化の振興に寄与する」という財団の設立目的実現のために、文芸の成果に対する授賞、文芸に関する出版、文芸の研究や著述の刊行への助成、映画芸術振興に関する助成、また文芸・映画資料の収集・保存・展示等、様々な事業を行っております。

公式サイト：<http://www.kadokawa-zaidan.or.jp/>



© 角川武蔵野ミュージアム